



# Kaspersky Security Center Cloud Console ライセンス登録ガイド

2023/03/20

株式会社カスペルスキー  
セールスエンジニアリング本部

Ver 1.0

## 目次

1. はじめに.....	3
1.1. 本資料の目的.....	3
1.2. Kaspersky Security Center Cloud Console (KSC CC)について.....	3
1.3. 対象アプリケーション.....	3
2. ライセンスの種類.....	4
3. 登録するライセンスの形式.....	4
4. KSCCC への更新ライセンス、KHCS ライセンスの登録方法.....	5
5. タスクを使用した特定デバイスへのライセンス登録.....	7
6. モバイルデバイスへのライセンス登録方法.....	12

## 1. はじめに

---

### 1.1. 本資料の目的

---

本資料では、カスペルスキーが法人のお客様向けに提供している製品を Kaspersky Security Center Cloud Console (KSCCC)を使用して管理している環境において、ライセンスを登録する手順についてご説明します。

### 1.2. Kaspersky Security Center Cloud Console (KSC CC)について

---

Kaspersky Security Center Cloud Console (以降 KSCCC)は、カスペルスキーが提供するクラウドベースの管理コンソールです。

KSCCC にライセンスを登録することで、管理下のデバイスに対し自動的にライセンスの適用を行うことができます。

また、「タスク」を利用し、意図するデバイスに対してのみライセンスを適用することもできます。

KSCCC 管理コンソールでは、現在適用中のライセンス数や、どのデバイスにライセンスを適用しているかといった情報を確認することができます。

KSCCC を利用するための手順やエンドポイントの展開等については以下サイトの資料をご参照ください。

<https://kasperskylabs.jp/biz/index2.html>

「KSC Cloud Console ワークスペース作成ガイド」

「KSC Cloud Console エンドポイント導入ガイド」

### 1.3. 対象アプリケーション

---

本資料では、以下のカスペルスキーアプリケーションを対象とし、KSCCC を使用したライセンスの登録手順についてご説明します。

- Kaspersky Security Center Cloud Console
- Kaspersky Endpoint Security for Windows (Windows Server OS)
- Kaspersky Security for Mobile

各アプリケーションに対し直接ライセンスを登録する手順は、アプリケーションのオンラインヘルプをご参照ください。

<https://support.kaspersky.com/help/#/b2b>

## 2. ライセンスの種類

---

KSCCC では、以下のライセンスを使用しアプリケーションヘライセンスの登録や管理を行うことができます。

商品
Kaspersky Endpoint Security for Business – Select (KESB-Select)
Kaspersky Endpoint Security for Business – Advanced (KESB-Advanced)
Kaspersky Endpoint Detection and Response Optimum (KEDR-Optimum)
Kaspersky Endpoint Detection and Response Optimum add-on (KEDR-Optimum add-on)
Kaspersky Hybrid Cloud Security Standard/Enterprise [Desktop/Server/CPU]

- ※ KEDR-Optimum は KEDR-Optimum と KESB-Advanced が含まれます。
- ※ KEDR-Optimum add-on は KEDR-Optimum の機能を使用するためのライセンスであり、別途 KESB のライセンスが必要となります。
- ※ エンドポイント用ライセンスは、アンチウイルスを使用する端末毎に 1 ライセンス消費します。  
端末上に別の OS を仮想で起動し、仮想 OS 上にもアンチウイルスアプリケーションを導入する場合、  
端末分、仮想 OS 分の合計 2 ライセンスが必要となります。
- ※ Windows Server OS に KES をインストールし、「ホスト侵入防止」「イベントログ監視」「ファイル変更監視」などの機能を利用する場合「KHCS」ライセンスが必要となります。

## 3. 登録するライセンスの形式

---

KSCCC ヘライセンスを登録する際は「アクティベーションコード」を使用します。

## 4. KSCCC への更新ライセンス、KHCS ライセンスの登録方法

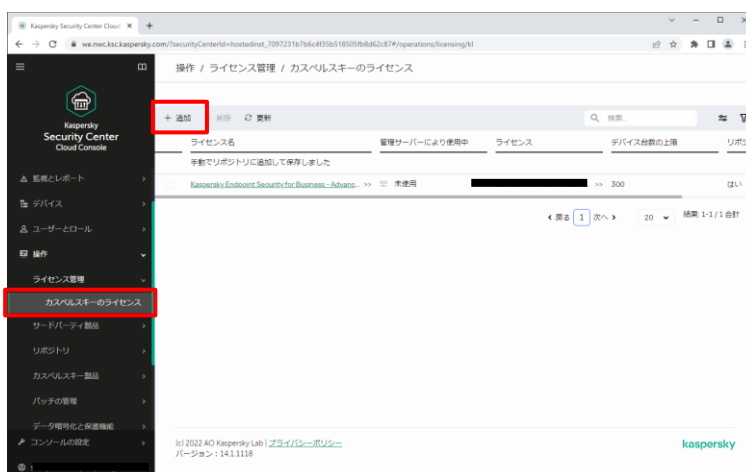
本章では、KSCCC に対してライセンスを登録する方法についてご説明します。

**更新ライセンスや、KHCS ライセンスなど特定のデバイスに対するライセンスを登録する際はこの手順を実施してください。**

事前に登録するライセンスのアクティベーションコードをご用意ください。

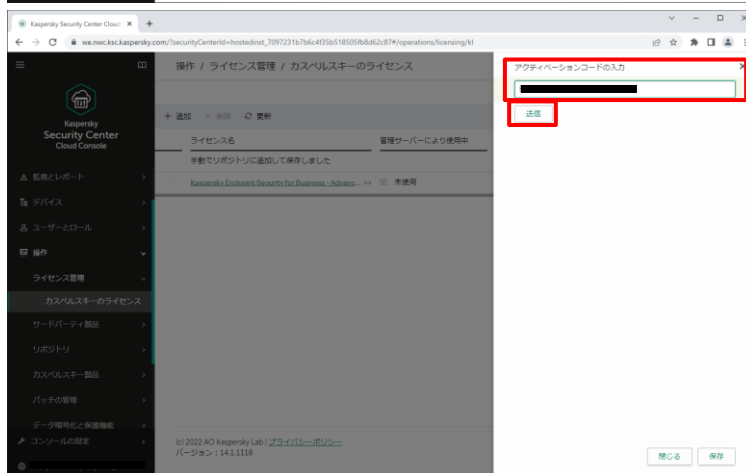
- (1) KSCCC の Web コンソールを開きます。  
メニューから「操作」-「ライセンス管理」-「カスベルスキーのライセンス」を開きます。

「追加」をクリックします。



- (2) アクティベーションコードの入力画面が表示されます。  
事前に用意したアクティベーションコードを入力し、「送信」をクリックします。

ここでは、特定のサーバーに登録する KHCS ライセンスを登録します。



(3) ライセンス情報が表示されます。

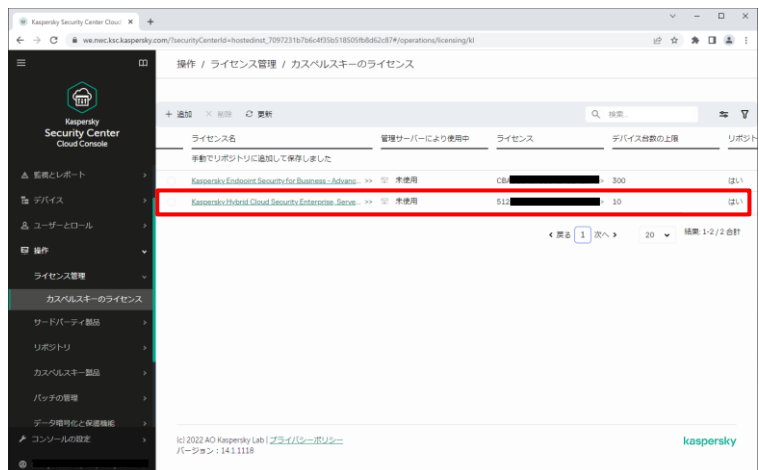
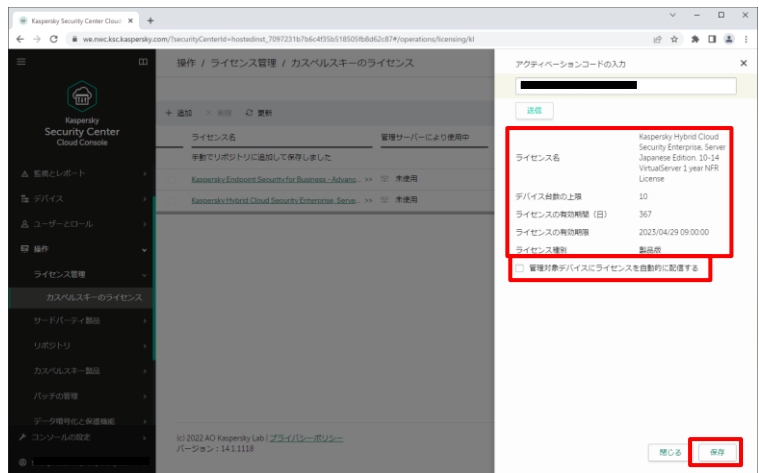
「管理対象デバイスにライセンスを自動的に配信する」をオンにすると、対象のデバイスに対し自動的にライセンスが登録されます。KESBの更新ライセンスを登録する場合などは、この設定をオンにします。

意図するデバイスに対してライセンスを適用させたい場合、この設定はオフにします。

ここでは特定のデバイスに対してこのライセンスを適用したいため、**オフ**に設定します。

確認後、「保存」をクリックします。

(4) 一覧に追加したライセンスが登録されたことを確認します。



本章は以上です。

## 5. タスクを使用した特定デバイスへのライセンス登録

本章では、タスクを使用し、特定のデバイスに対してライセンスを登録する手順についてご説明します。

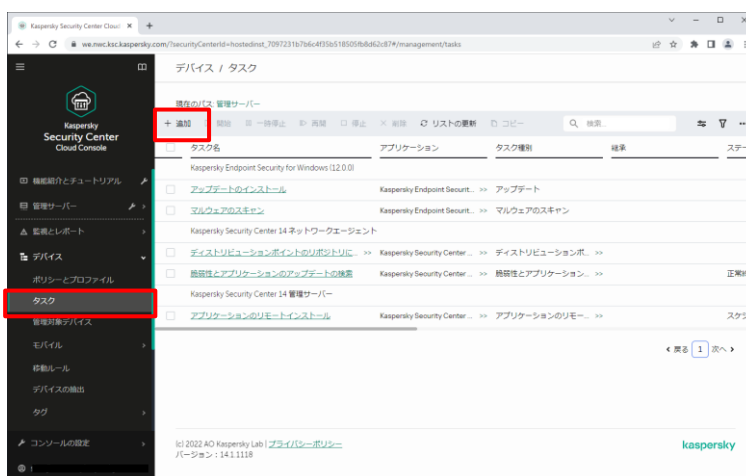
**KHCS ライセンスを特定のサーバーに対して登録する場合や、更新ライセンスを手動で登録する場合などに使用してください。**

ここでは、Windows Server に導入されている Kaspersky Endpoint Security(KES)に対し、タスクを使用して KHCS ライセンスを登録する手順についてご説明します。

対象のデバイスに対しネットワークエージェントと KES が導入されていることを前提とします。

- (1) KSCCC の Web コンソールを開きます。  
メニューから「デバイス」-「タスク」を開きます。

「追加」をクリックします。

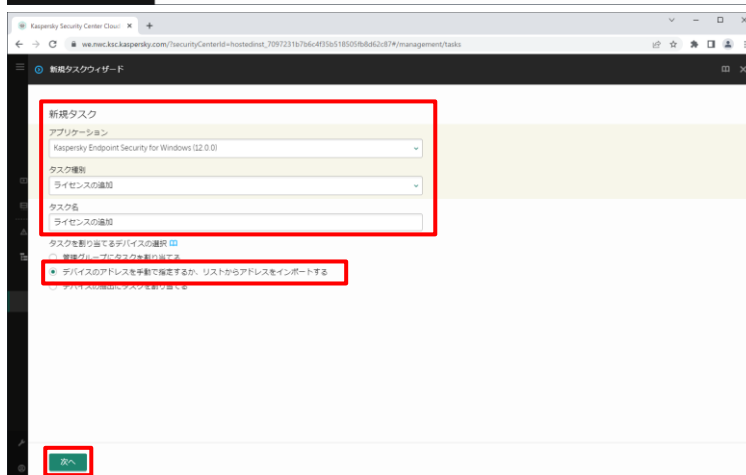


- (2) 新規タスクウィザードが起動します。  
以下を設定し、「次へ」をクリックします。

アプリケーション : KES for Windows  
タスク種別 : ライセンスの追加  
タスク名 : 任意

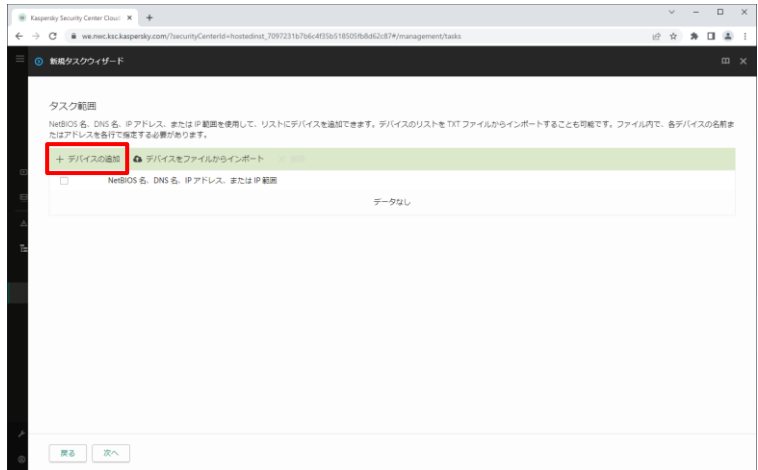
ここでは、特定のデバイスに対しライセンスを登録するため、「タスクを割り当てるデバイスの選択」として「**デバイスのアドレスを手動で指定するか、リストからアドレスをインポートする**」を選択します。

設定後、「次へ」をクリックします。

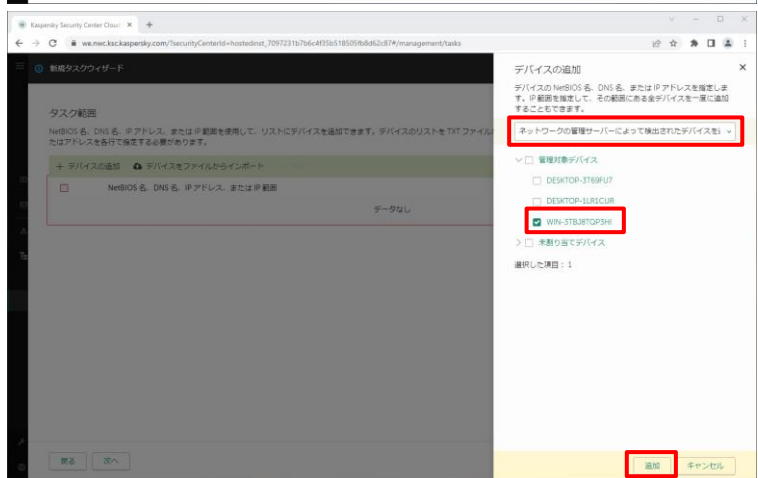


# kaspersky

- (3) 「タスク範囲」画面が表示されます。  
「デバイスの追加」をクリックします。



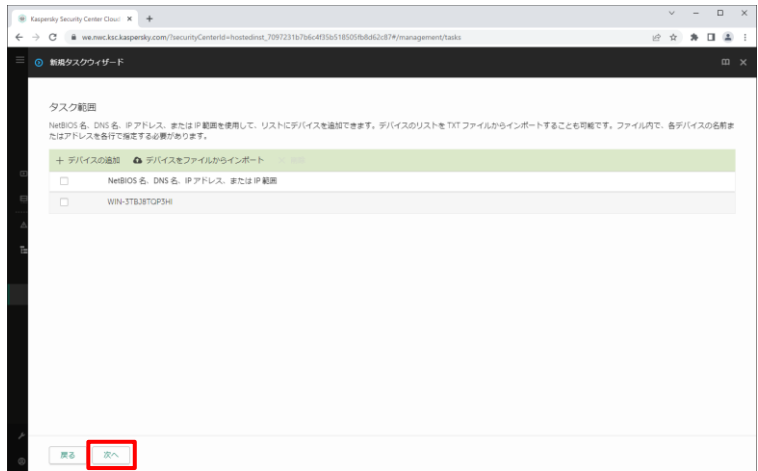
- (4) 「デバイスの追加」画面が表示されます。  
指定条件として「ネットワークの管理サーバーによって検出されたデバイスを選択する」を選択すると、管理対象デバイスのグループ情報が表示されます。



ツリーを展開し、タスクの実行対象とするデバイス(またはグループ)にチェックを入れます。

設定後、「追加」をクリックします。

- (5) 選択したデバイスが一覧に表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

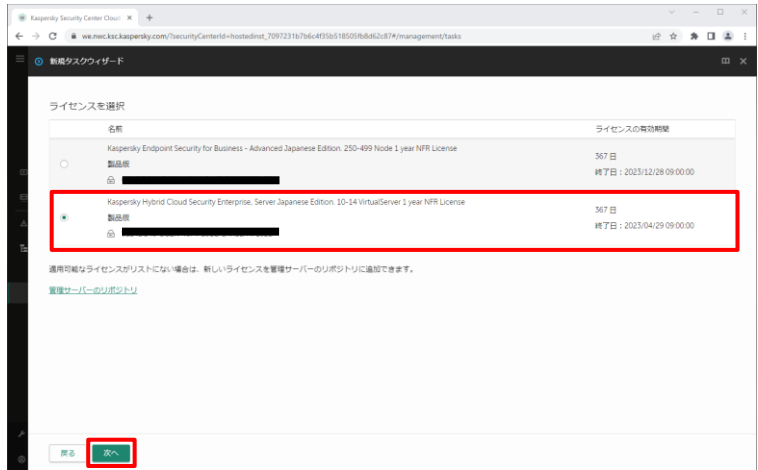




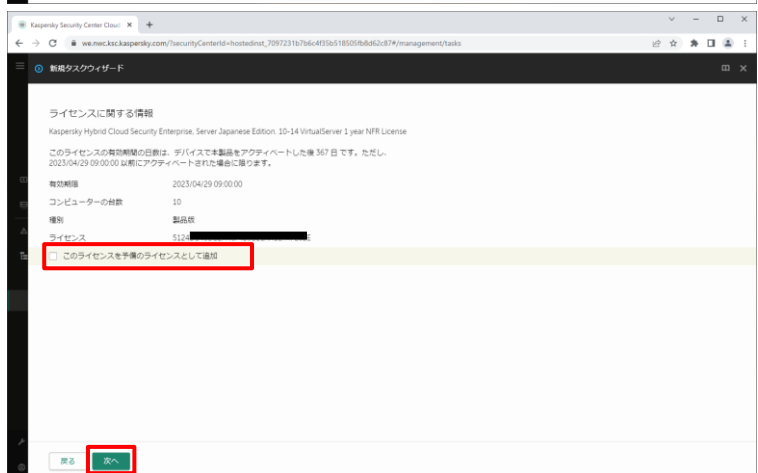
# kaspersky

(6) 「ライセンスを選択」画面が表示されます。  
登録するライセンスを選択し、「次へ」をクリックします。

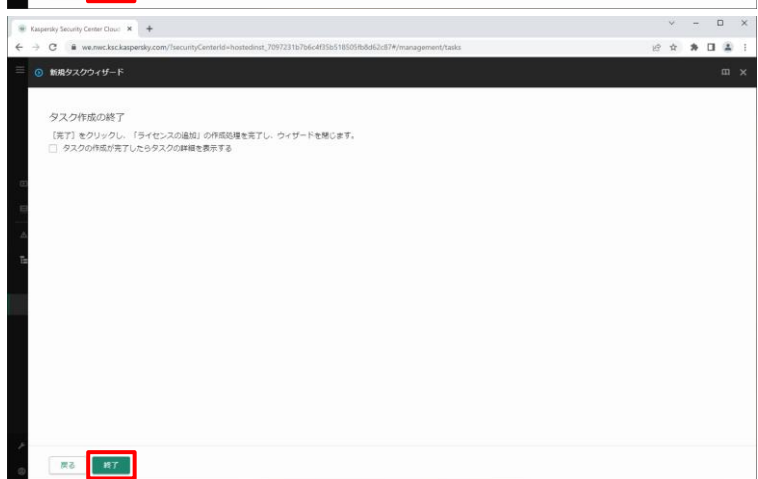
ここでは、KHCS のライセンスを選択しています。



(7) 「ライセンスに関する情報」が表示されます。  
このライセンスをメインのライセンスとして登録するため、「このライセンスを予備のライセンスとして追加」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



(8) タスクが正常に作成されたことを確認し、「終了」をクリックします。

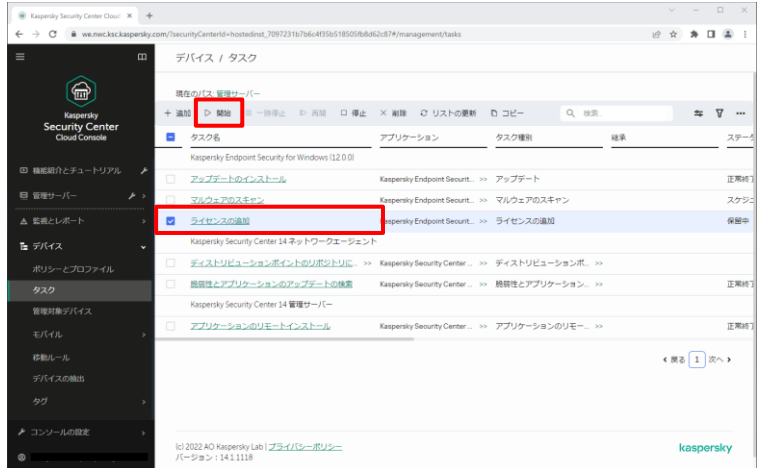


# kaspersky

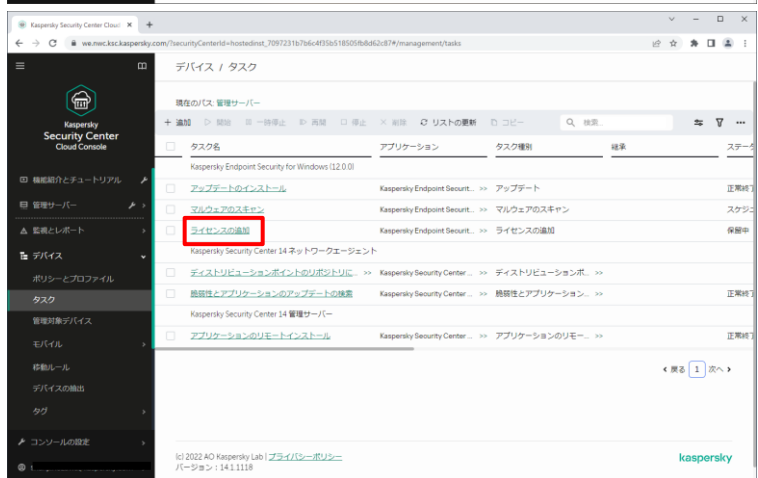
(9) 一覧に追加したタスクが登録されていることを確認します。

タスクを開始するため、タスクにチェックを入れ「開始」をクリックします。

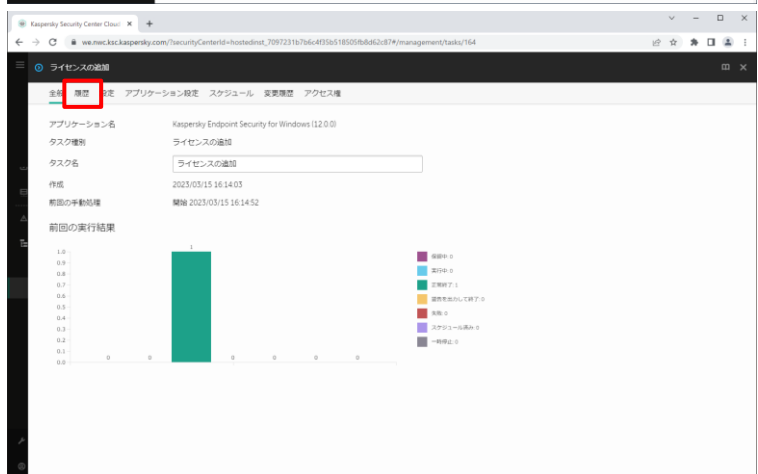
タスクが完了するまでしばらく待ちます。



(10) タスクの実行状況を確認する場合、タスク名をクリックします。

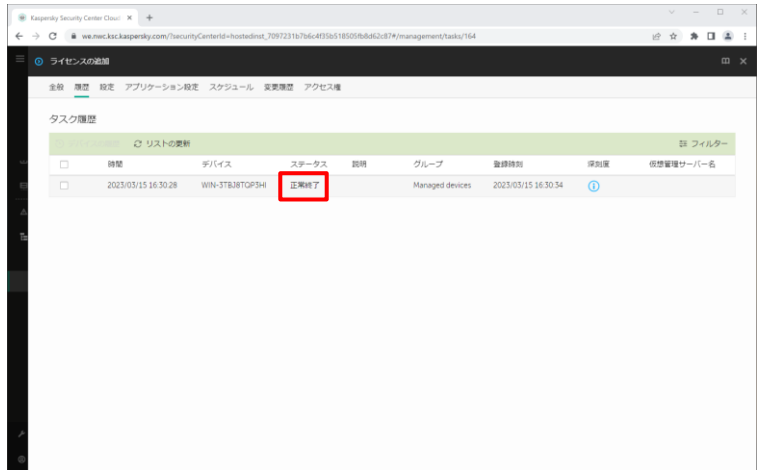


(11) タスクのプロパティ画面が表示されるので、「履歴」をクリックします。

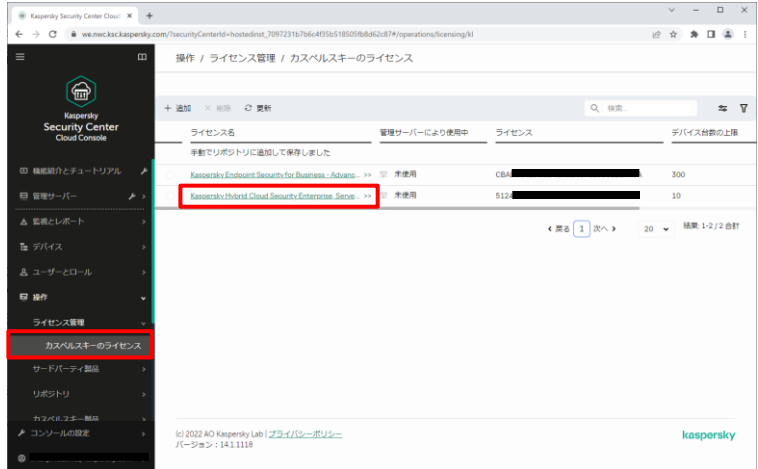


# kaspersky

- (12) 対象デバイスのステータスが「正常終了」と表示されていることを確認します。確認後、プロパティ画面を閉じます。

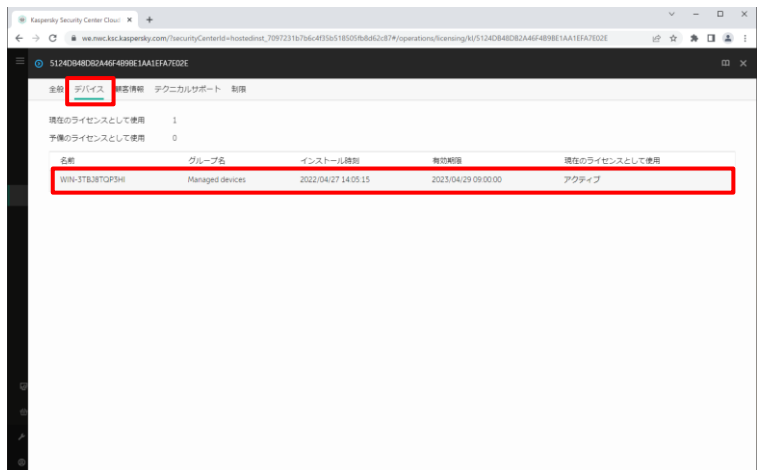


- (13) ライセンスの登録状況を確認する場合、「操作」-「ライセンス管理」-「カスペルスキーのライセンス」を開き、登録したライセンスをクリックします。



- (14) 「デバイス」を開きます。現在このライセンスが登録されているデバイスの一覧が表示されます。

確認後、プロパティ画面を閉じます。



本章は以上です。

## 6. モバイルデバイスへのライセンス登録方法

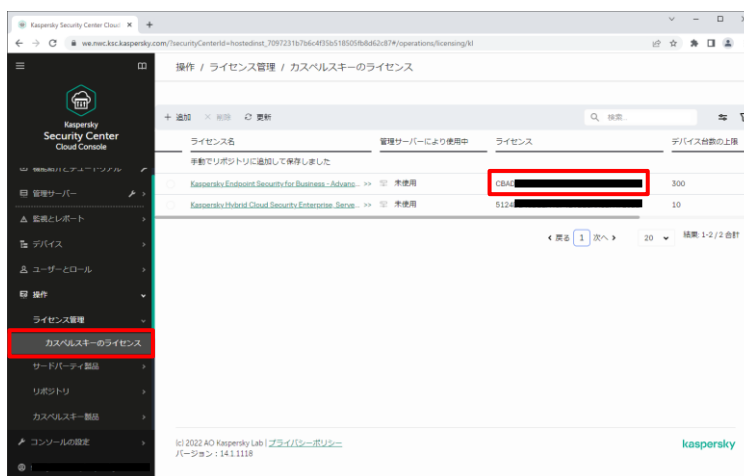
本章では、KSCCC で管理しているモバイルデバイス（Android や iOS）に対してライセンスを登録する手順についてご説明します。

モバイルデバイスに対してライセンスを登録する際は、Kaspersky Security for Mobile のポリシーにライセンスを登録する必要があります。

ライセンスを更新する際は、更新時にこの手順を再度実施する必要があります。

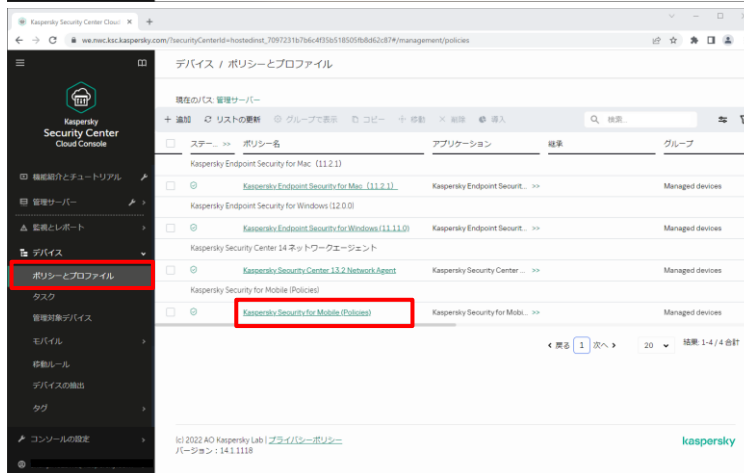
- (1) KSCCC の Web コンソールを開きます。  
「操作」-「ライセンス管理」-「カスペルスキーのライセンス」を開きます。

モバイルデバイスに登録するライセンスの ID を確認します。

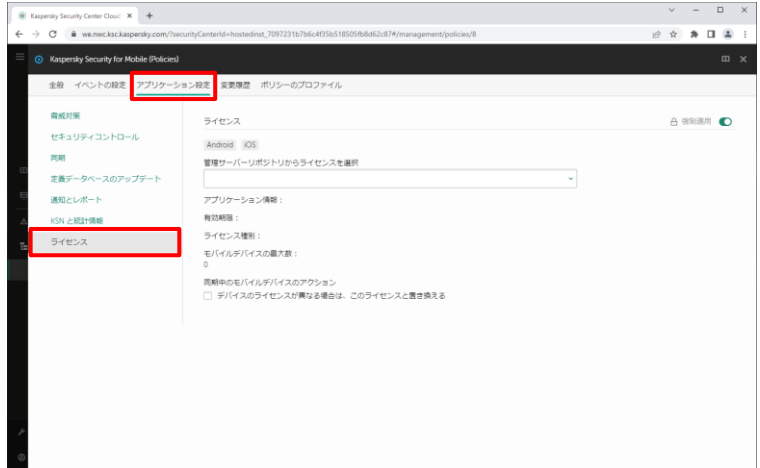


- (2) メニューから「デバイス」-「ポリシーとプロファイル」を開きます。

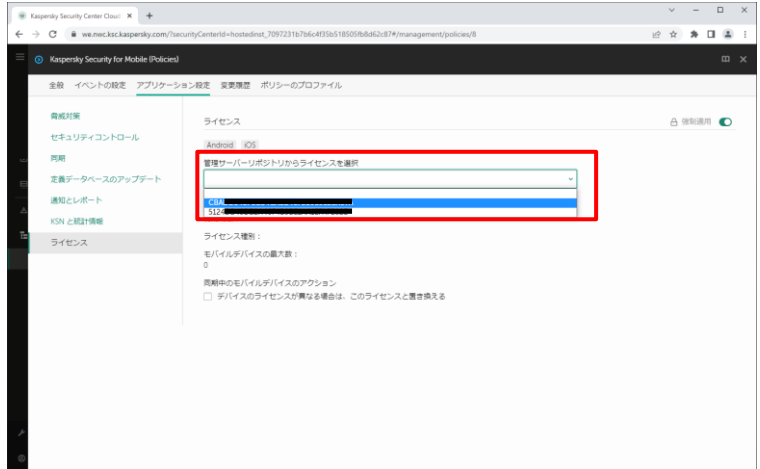
「Kaspersky Security for Mobile」ポリシーをクリックします。



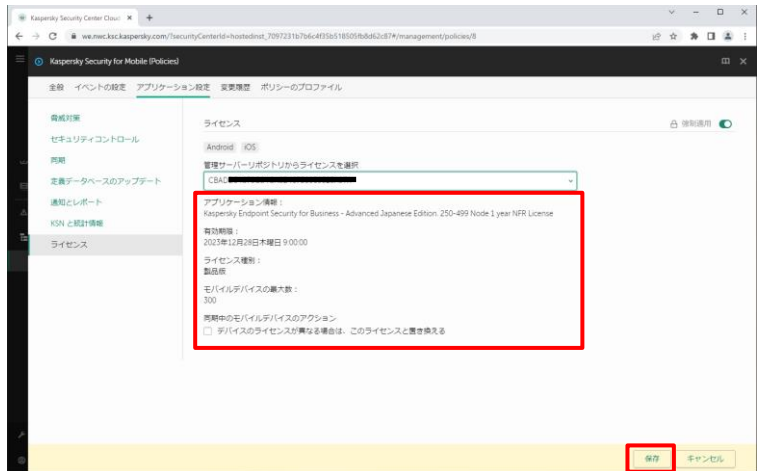
(3) 「アプリケーション設定」を開き、「ライセンス」を選択します。



(4) 「管理サーバーリポジトリからライセンスを選択」のリストボックスを開き、「(1)」で確認したライセンスの ID を選択します。



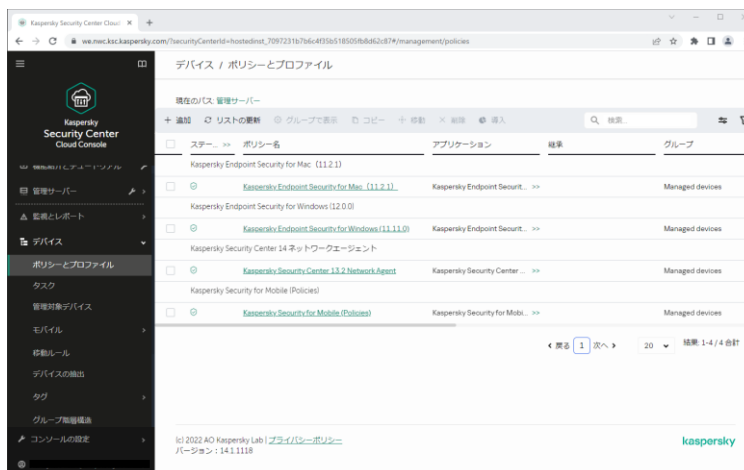
(5) ライセンス情報が表示されることを確認し、「保存」をクリックします。



# kaspersky

(6) 設定は以上です。

KSCCC の管理下にあるモバイルデバイス  
に対し、このポリシーが適用されることでライ  
センスも登録されます。



本章は以上です。

kaspersky



## 株式会社カスペルスキー

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 7F

<http://www.kaspersky.co.jp/> | [kasperskylabs.jp/biz/](http://kasperskylabs.jp/biz/)

©2023 Kaspersky Labs Japan. Kaspersky Anti-Virus および Kaspersky Security は、AO Kaspersky Lab の登録商標です。  
その他記載された会社名または製品名などは、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。  
記載内容は 2023 年 3 月現在のものです。記載された内容は、改良の為に予告なく変更されることがあります。